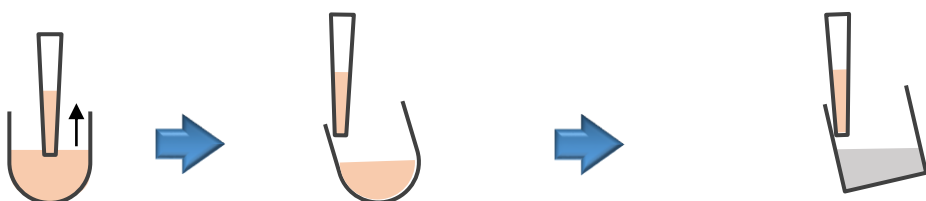


マイクロピペットの操作法について

本製品の測定時に使用する市販のマイクロピペットは、正しい操作法でご使用いただかないとサンプル量が不正確となり、測定値に影響を及ぼす可能性があります。つきましては正しい操作法を以下のフローにご案内させていただきますので、ご参照いただきますと幸いです。

ピペット操作法：リバーズ法

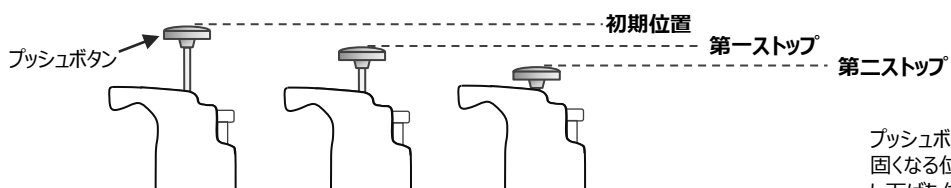


Step1. 吸引

プッシュボタンを第二ストップまで押し下げ、チップの先端を液体につけて液体を吸引します。チップの先端を内壁につけてチップの外側に付いた余分な液体を落とします。

Step2. 吐出

プッシュボタンを第一ストップまで押しつけて液体を吐出します。チップの先端を内壁につけてチップの先端に残った滴を落とします。

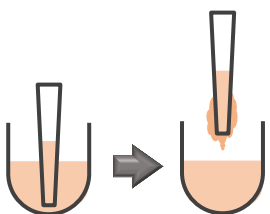


プッシュボタンを押し下げたときに、最初に固くなる位置が第一ストップ、最後まで押し下げた位置が第二ストップです。



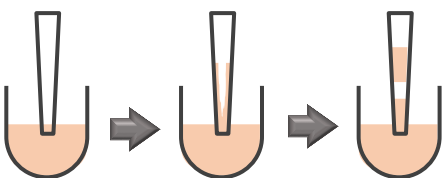
その他の注意(特に粘性の高い検体では以下の点にご注意下さい。)

- ✓ チップの先端を液体に深く入れすぎないようにして下さい。



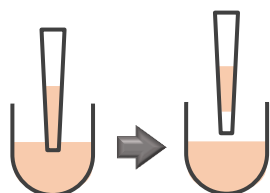
チップを深く入れすぎるとチップの周りに付着した液体を次のステップに持ち込むことになります。

- ✓ プッシュボタンの吸引動作が早すぎると空気を巻き込み、正確な液量を吸引できない場合があります。



空気を巻き込んだ状態で吐出すると、本来よりも少ない量しか分注できません。

- ✓ 吸引後もチップを液体に漬けた状態でしばらく待ち、チップの先端まで液体が満たされていることをご確認下さい。



サンプルの吸引が完全に完了する前にチップを引き上げてしまうと、チップの先端に空気が入ることがあります。

参考データ

ピペット操作の違いによるコントロールの測定値の差を検証いたしました。

	リバース法 プレウェットingあり 接液あり	フォワード法 プレウェットingなし 接液なし
実測値(n=4)	42.4	35.4
SD	1.01	1.23
CV	2.4%	3.5%
参考値	44.5	44.5
参考値比	95.3%	79.4%

リバース法 : プッシュボタンを第二ボタンまで押し下げて吸引、第一ボタンまで押し下げて吐出。
フォワード法 : プッシュボタンを第一ボタンまで押し下げて吸引、第二ボタンまで押し下げて吐出。
プレウェットing : 吸引前にピペッティングを数回繰り返すこと。
接液あり : 吐出時にチップの先端を内壁につけてチップの先端に残った滴を落とすこと。

